



北海道議会議員

ただひろ

佐藤 禎洋

令和6年11月号

発行/佐藤禎洋 政務調査室

令和6年 北海道議会 第3回定例会

9月10日から始まった第3回定例会が終了をいたしました。この議会では人口減少対策、産業の集積促進、農業をはじめとする1次産業の振興、さまざまな道政上の重要課題について議論をし、私が予算特別委員長を務めた総額約361億円の補正予算、7件の条例案について議決をしました。

私は『北海道水産業・漁村振興条例』の一部改正に係る検討会議の座長を務め、道議会全会派の承認をいただき、道議会初の条例の一部改正を成立させることができました。

これにより、「第1回北海道豊かな海づくり大会」を令和7年度の早い時期に開催することとなり、さらに北海道の豊かな海を守る取り組みを推進いたします。

開催場所については、今後、各種団体や自治体の要望等をいただき議会議論を通して決定されます。



定例会最終日、条例の一部改正について
議案説明を行う



条例改正のポスター

小樽市漁業協同組合 嶋組合長 来庁

小樽市漁業協同組合嶋秀樹組合長が来庁され、富原亮 北海道議会議長と桐木茂雄 水産林務委員長、岡嶋秀典 水産林務部長に、小樽市の3漁港（祝津、忍路、塩谷）の整備について要望活動を行いました。今後は3漁港の整備については「新小樽漁港統合プラン」を策定し、



小樽市漁業協同組合と組合員の合意形成の元に、小樽市にも協力をいただきながら進めていく予定です。

来庁いただいた、嶋組合長、中村理事、長谷川祝津区長、三浦専務のみなさん

石狩湾新港管理組合議会 台湾港湾調査

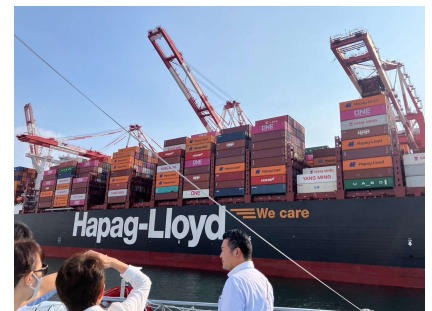
現在、カーボニュートラルを代表の例として、様々な再生エネルギーが集積し展開している石狩湾新港では、港湾脱炭素化推進計画の策定を進めているところであり、どう取り組むべきかの調査であります。

主な調査項目は、

- ① 港湾における脱炭素化の取り組み
 - ・脱炭素化に関し、港湾における再エネ活用の取り組みについて、国を挙げて洋上風力発電に注力し、戦略的に取り組み「環境に配慮した港湾」を上手くPRしている台湾の港湾事情を調査
- ② 洋上風力発電における港湾の役割等
 - ・大規模風力発電の建設やO&Mに関し、港湾に必要な施設・機能等について、アジアにおける先進地である台湾事情を調査

※O&M

オペレーション&メンテナンスの略で、施設のオーナーに代わって運転管理業務、維持管理業務を行う事業のこと。



高雄港にて



台湾港務(株)台中支社 陳副社長



TIWTC トレーニング(株)
洋上風力トレーニングセンター